

文化を越えることば —翻訳と翻案の世界—

日時

12月5日(土)

①13:30~15:00 ②15:10~16:40

定員

100人

(定員を超える場合は抽選)

会場

合人社ウェンディひと・まちプラザ
(まちづくり市民交流プラザ)広島市中区袋町 6-36
北棟 5階 研修室 AB (裏面地図参照)

受講料

750円

(納付方法は別途通知します。)

対象

広島市内に在住か通勤・通学の人

①「死を語ることば

——『イワン・イリイチの死』を日本語で読む——」

講師: 広島大学大学院人間社会科学研究科教授

溝渕 園子 さん



②「語りなおされる物語

——映画になった小川洋子の文学——」

講師: 広島大学大学院人間社会科学研究科准教授

藤城 孝輔 さん

ことばは、どのようにして異なる文化や時代を越えていくのでしょうか。前半では、ロシア文学の翻訳を通じて、日本語とロシア語のあいだに宿る豊かな意味の世界を探ります。後半では、フランスや台湾で映画化された小川洋子文学を題材に、物語が国境を越えて変容する姿を考えます。

●申し込みは、「メール」「通常ハガキ」での申し込みとなります。

※詳しい講座内容や申し込み方法については、裏面をご覧ください。



●主催: (公財)広島市文化財団、広島市

文化を越えることば—翻訳と翻案の世界—

「リテラ」とは…「リテラ(Littera)」は、ラテン語で文学を意味する語で、英語の文学(Literature)の語源になっています。広島大学大学院人間社会科学研究科人文学プログラムが公開講座等を開催する大講義室の愛称として採用され、開催する行事の名称に「リテラ」をつけているものです。

講座内容

①死を語ることば

——『イワン・イリイチの死』を日本語で読む——

私たちは「死」をどのようなことばで語ってきたのでしょうか。ロシアの近代作家レフ・トルストイの『イワン・イリイチの死』を手がかりに、ロシア語と日本語のあいだに生まれる微妙なずれに目を向け、翻訳という営みの奥深さをひもときます。朗読を交えながらことばに耳を澄ませ、生を見つめ直す時間を一緒にしましょう。

②語りなおされる物語

——映画になった小川洋子の文学——

文学作品のことばは、映像になることで、時代や文化を越境するだけでなく、ふだん本を読まない多くの観客にも届きます。フランスや台湾に舞台を移して映画化されてきた小川洋子の小説に注目し、それぞれの作品の背景や映画化による物語の変容について考えてみましょう。

★申し込み方法★

メール又は通常ハガキでお申し込みください。※電話での申し込みは受付できません。

申込手段	申込方法
①メール	件名を「リカレント学習講座申し込み」とし、下記問い合わせ先メールアドレスに、右下の必要事項5点をご記入の上、メールを送信してください。（右下の二次元コードを読み取ると、メール作成画面に移動します。）原則ひとり1通（ただし、同住所の場合、2名まで1通のメールでお申し込み可能です。）
②通常ハガキ	下記問い合わせ先住所へ、通常ハガキに右下の必要事項5点をご記入の上、送付してください。原則ひとり1枚（※ただし、同住所の場合、2名まで1枚のハガキでお申し込み可能です。）ハガキ代は 85円 です。※往復ハガキではありません。

※当選通知等が「あて所に尋ねあたりません」と返送されるケースが増えています。住所の記入間違いにご注意ください。

※申し込みの際にお寄せいただいた個人情報については、広島大学大学院と共有しますが、事業運営以外の目的には使用しません。

※メールでお申し込みをされた方で、当課から1週間経っても返信がない場合は、お電話でご確認をお願いいたします。

《申込期間》 **10月1日(木)～10月30日(金)【必着】** ※期間外の申し込みは受付できません。



■会場案内

合人社ウェンディひと・まちプラザ
(まちづくり市民交流プラザ)

○市内電車:袋町電停から 約 200m

○バス:袋町バス停から 約 240m

○アストラムライン:本通駅から 約 300m

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

※自転車・バイクの方は、地下に有料駐輪場(入口北西側)がございます。

必要事項

①	講座名(文化を越えることば—翻訳と翻案の世界—)
②	郵便番号
③	住所
④	氏名(ふりがな)
⑤	電話番号

(本講座は「高齢者いきいき活動ポイント事業」の対象(1P)です。)

《問い合わせ先》[土日祝日は閉所しています]

(公財)広島市文化財団 ひと・まちネットワーク部管理課

〒730-0036 広島市中区袋町6番36号

TEL:(082) 541-5335 / FAX:(082) 541-5611 / Email:hito-j@cf.city.hiroshima.jp



(↑メールはこちらから)